

富山県鉱工業生産の動き

～平成21年(2009年)7月分～

総合指数

平成17年(2005年) = 100、季節調整済

	21年7月	前月比(%)	前年同月比(%)
生産指数	73.3	2.9	27.1
在庫指数	90.2	0.8	4.9

- 1 生産指数(季節調整済指数)は73.3と前月に比べ2.9%の上昇となり、2ヵ月ぶりに上昇した(図表)。これは13業種中、電気機械工業、一般機械工業、プラスチック製品工業など10業種が上昇したことによる。なお、低下した業種は食品工業、窯業・土石製品工業、金属製品工業の3業種である。業種別にみると、電気機械工業は集積回路などの増加により前月比11.1%の上昇で53.2となり、一般機械工業はロボット・産業機械などの増加により前月比13.5%の上昇で43.8となった。他方、食品工業は飲料などの減少により前月比4.6%の低下で100.5となり、窯業・土石製品工業は前月比4.2%の低下で69.9となった。また、前年同月比(原指数)は27.1%の低下となり、10ヵ月連続で前年を下回った。なお、13業種中、平成17年基準の指数100を上回っている業種は、化学工業(114.2)、食品工業(100.5)の2業種となった。

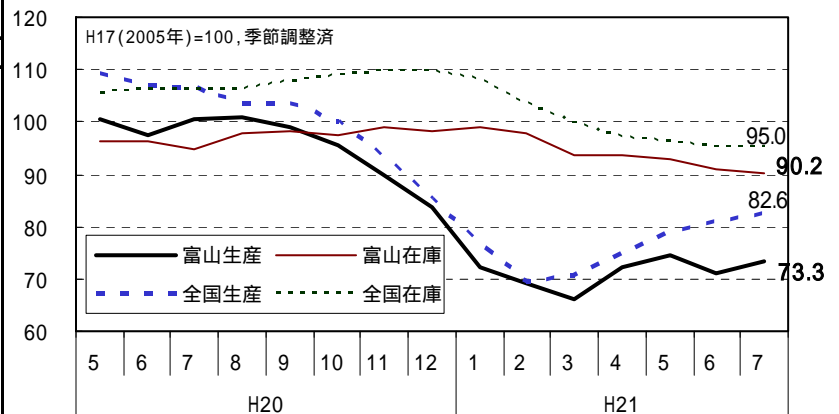
- 2 在庫指数(季節調整済指数)は90.2と前月に比べ0.8%の低下となり、6ヵ月連続で低下した(図表)。これは13業種中、化学工業、非鉄金属工業など8業種が低下したことによる。なお、上昇した業種は繊維工業、パルプ・紙・紙加工品工業など5業種である。また、前年同月比(原指数)は4.9%の低下となり、6ヵ月連続で前年を下回った。

指数の動き

平成17年(2005年)=100、季節調整済指数

		富山県		全国		
		生産指数	在庫指数	生産指数	在庫指数	
平成20年	5月	100.4	96.2	109.3	105.3	
	6月	97.6	96.3	107.1	106.2	
	7月	100.7	94.9	106.8	106.3	
	8月	101.0	97.9	103.5	106.1	
	9月	98.8	98.2	103.6	107.7	
	10月	95.6	97.4	100.1	108.9	
	11月	89.9	98.9	93.1	109.5	
	12月	83.6	98.4	85.3	109.7	
	平成21年	1月	72.1	98.8	76.7	108.0
		2月	69.0	97.9	69.5	103.5
		3月	66.0	93.6	70.6	99.8
		4月	72.2	93.5	74.8	97.1
5月		74.6	92.7	79.1	96.4	
6月		71.2	90.9	80.9	95.3	
7月		73.3	90.2	82.6	95.0	

生産・在庫指数の推移



・問い合わせ先：富山県経営管理部統計調査課 TEL 076-444-3193 (直通)

・次回公表予定日：平成21年10月26日(月)

・「富山県鉱工業生産の動き」は、HP「とやま統計ワールド」でご覧になれます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/>

平成21年7月分 業種別の主な動向

ウェイトは10000分比で算出

業種は寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載

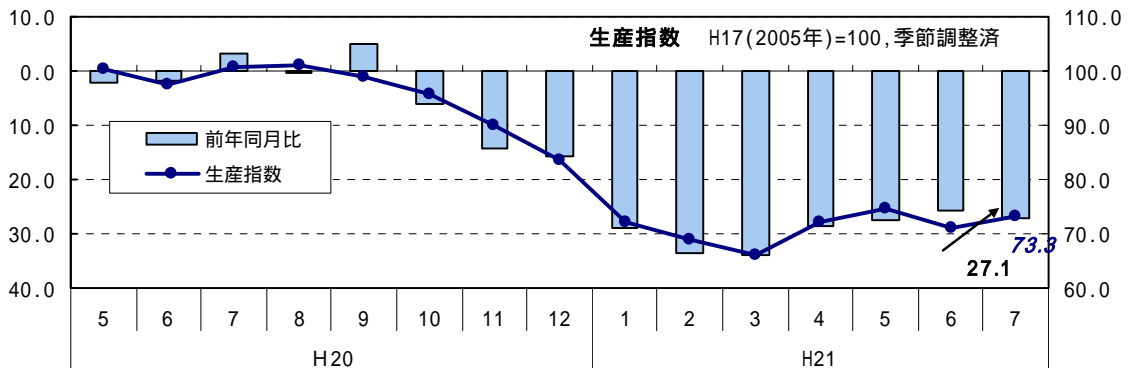
<生産> (指数73.3(前月比 +2.9%))

上昇した業種(10業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比(%)	寄与した主な品目	前年同月比(%)
電気機械工業	2112.5	53.2	11.1	集積回路など	41.2
一般機械工業	1225.6	43.8	13.5	ロボット・産業機械など	54.6
プラスチック製品工業	471.9	63.4	12.0	機械器具部品など	20.4

低下した業種(3業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比(%)	寄与した主な品目	前年同月比(%)
食料品工業	265.3	100.5	4.6	飲料など	3.2
窯業・土石製品工業	236.9	69.9	4.2		23.7
金属製品工業	1134.9	82.8	0.6		11.6



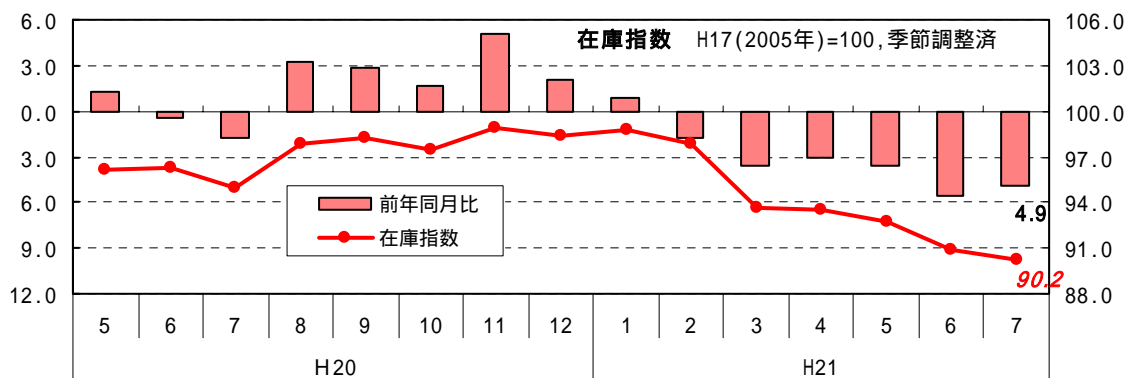
<在庫> (指数90.2(前月比 0.8%))

低下した業種(8業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比(%)	寄与した主な品目	前年同月比(%)
化学工業	2527.2	116.3	3.0	その他化学製品など	16.3
非鉄金属工業	826.8	64.4	6.9	アルミニウム二次精錬など	19.4
一般機械工業	668.5	77.0	6.4		34.2

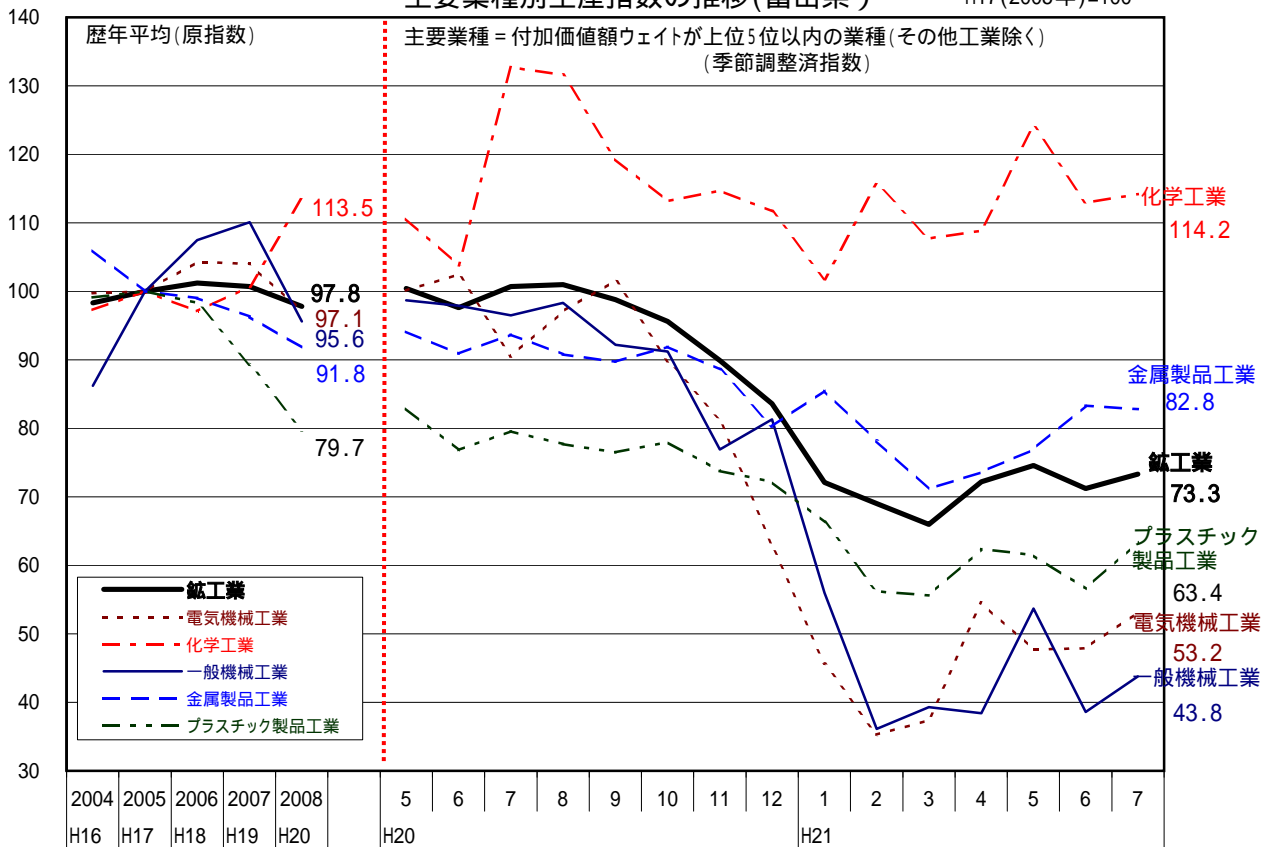
上昇した業種(5業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比(%)	寄与した主な品目	前年同月比(%)
繊維工業	521.2	74.7	6.3	衣類など	12.7
パルプ・紙・紙加工品工業	911.5	103.9	1.7		4.4
輸送機械工業	155.9	101.6	6.3		44.8



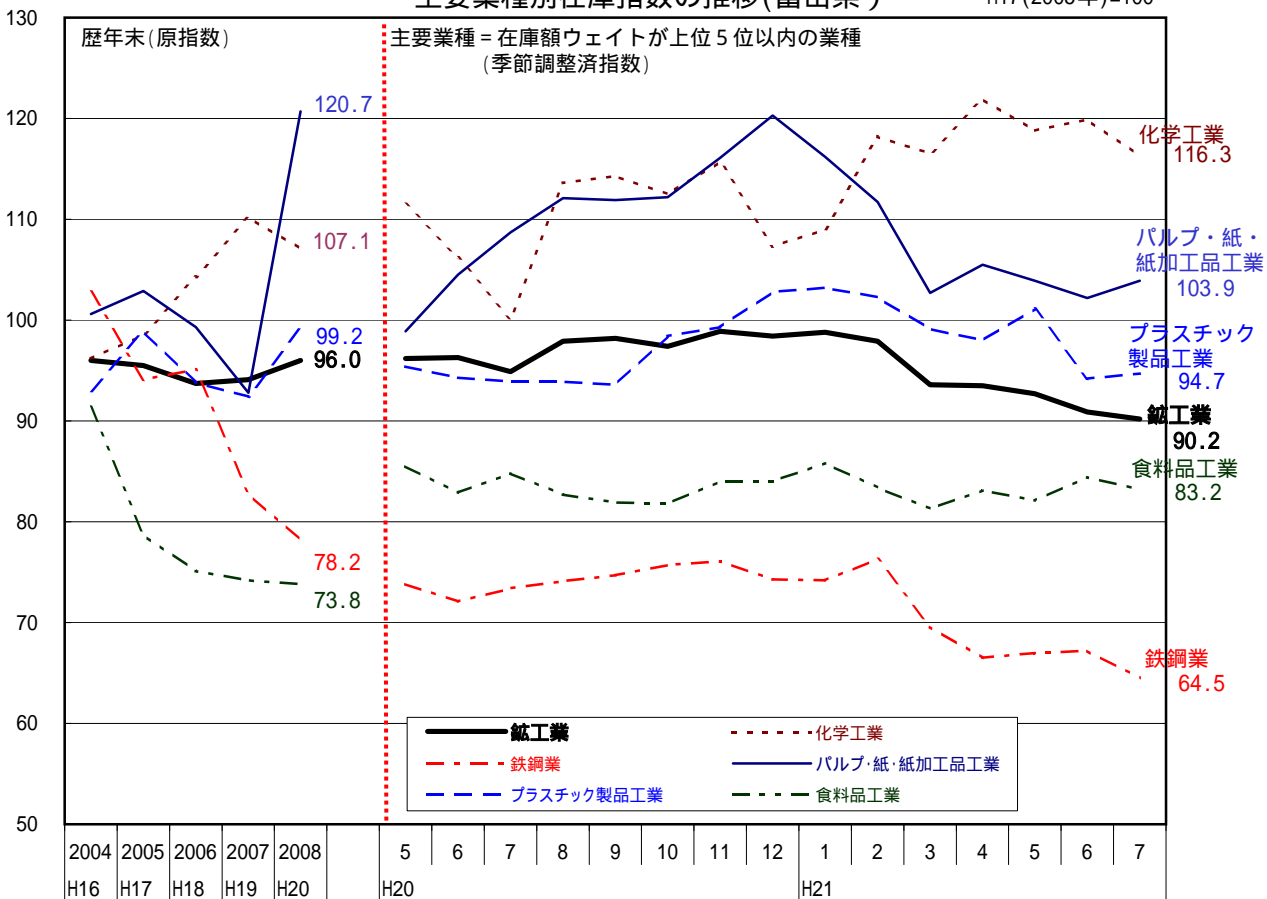
主要業種別生産指数の推移(富山県)

H17(2005年)=100



主要業種別在庫指数の推移(富山県)

H17(2005年)=100



鋳工業指数利用者のために（利用上の注意）

1 作成目的

鋳工業の生産及び在庫状況を数量的に調査し、富山県における鋳工業の動向を総合的に把握することを目的とする。鋳工業指数とは、一定地域内における月々の鋳工業生産量及び在庫量を、ある一定時期を基準にして指数化したものである。

2 基準時及びウェイト算定年次

指数の基準時は平成17年(2005年)である。したがって、指数値は平成17年の平均を100.0とした比率で示されている。また、ウェイトも平成17年の産業構造により作成されている。平成17年基準は、平成20年9月25日に公表し、同年7月分指数から適用するとともに、平成15年(2003年)まで遡及計算を行っている。

3 分類

分類は、日本標準産業中分類(若干の組み替えを行っている)に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「特殊分類(財別)」の2つの分類による。

4 指数の種類及び採用品目数

	採用品目数				ウェイト算定基準
	計	製造工業	鋳業	電力・ガス事業	
生産指数	198	196	0	2	付加価値額
生産者製品在庫指数	132	131	0	1	在庫額

- ・生産指数(付加価値額ウェイト) 生産活動の生産水準の動き
- ・生産者製品在庫指数 生産製品が出荷されずに生産者段階に残っている在庫の動き
受注生産等で在庫を把握する必要がないものや、在庫の把握が極めて困難で数値が得られない品目があるため、生産者製品在庫指数の採用品目数は、生産指数より少ない。特殊分類は、財用途が2財にわたる(1品目)ものはウェイトを分割して各財毎に集計しているため、業種分類と特殊分類では採用品目数が一致していない。また、採用単位は、製品数量単位及び製品固有単位を基本としている。

5 総合指数の算式

総合指数の算式は、品目別指数を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法(ラスパイレス算式)による。具体的には次のとおり。

$$I_t = \frac{\sum P_{io} Q_{it}}{\sum P_{io} Q_{io}} = \sum \frac{P_{io} Q_{io}}{\sum P_{io} Q_{io}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{io}} \right] = \sum \frac{W_{io}}{\sum W_{io}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{io}} \right]$$

I_t ...t時点の総合指数

P_{io} ...品目別平成17年平均単価(生産指数は品目別平成17年平均付加価値単価)

Q_{io} ...品目別平成17年1ヶ月平均数量(基準数量)

Q_{it} ...品目別比較時数量

W_{io} ...品目別平成17年ウェイト(ウェイトは鋳工業に対する万分比)

6 季節調整方法

センサス局法(X-12-ARIMA)を採用

季節調整済指数 = 原指数 ÷ (季節指数 × 曜日・祝祭日指数)

平成21年1月以降の季節指数は、平成20年の季節指数を適用している。

7 その他

本書記載の数値を転載するときは、「富山県鋳工業生産の動き」による旨を明記してください。この月報の前月公表値が修正報告により若干変更されている場合があります。内容についてのお問い合わせは、下記あてにお願いします。

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
富山県 経営管理部 統計調査課 商工係
Tel:076-444-3193(直通)